

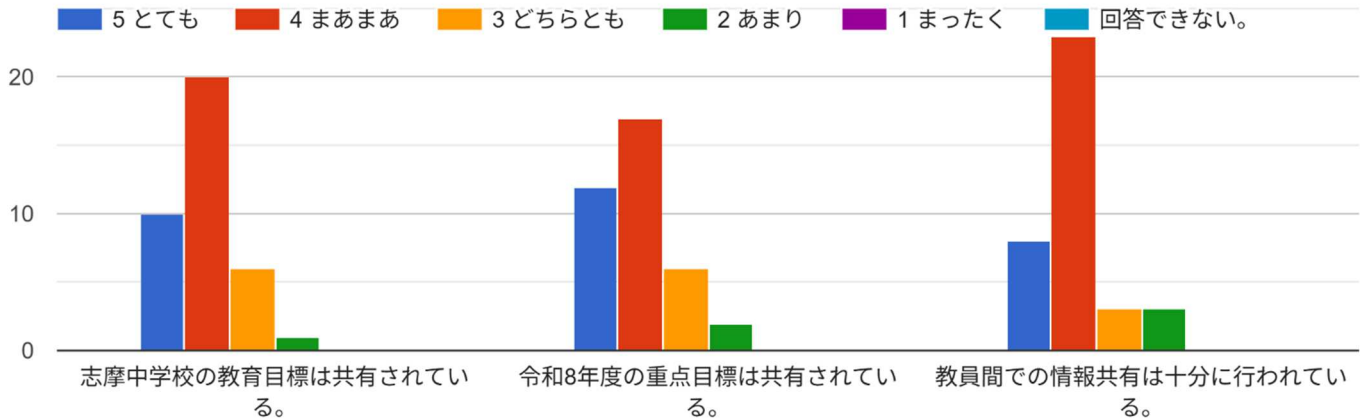
R8年度 前期教職員自己評価(志摩中学校)

回答数 37 名

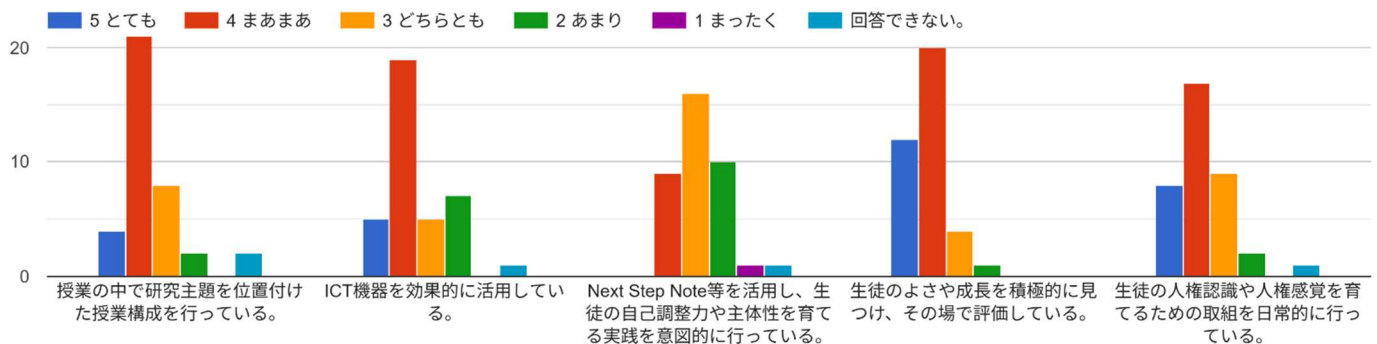
令和 8 年10月 19 日

教頭 古木香寿美

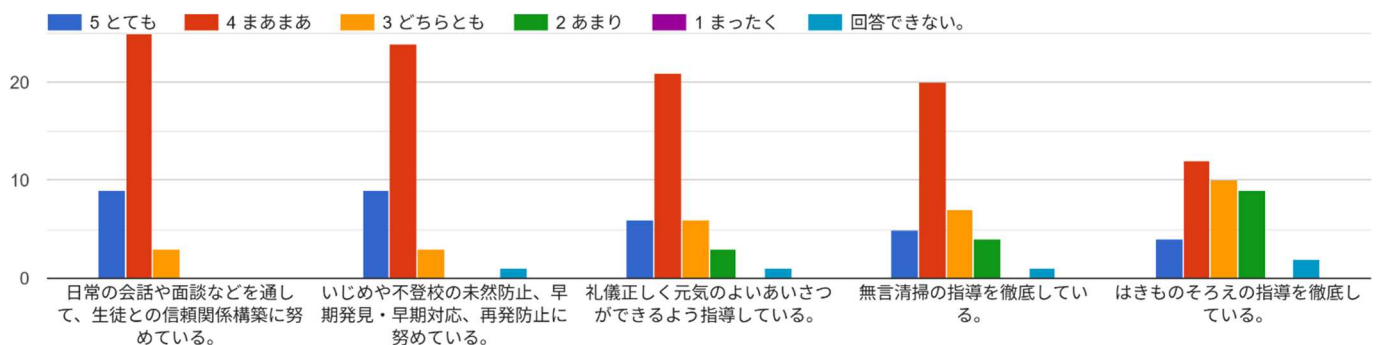
① 学校運営について



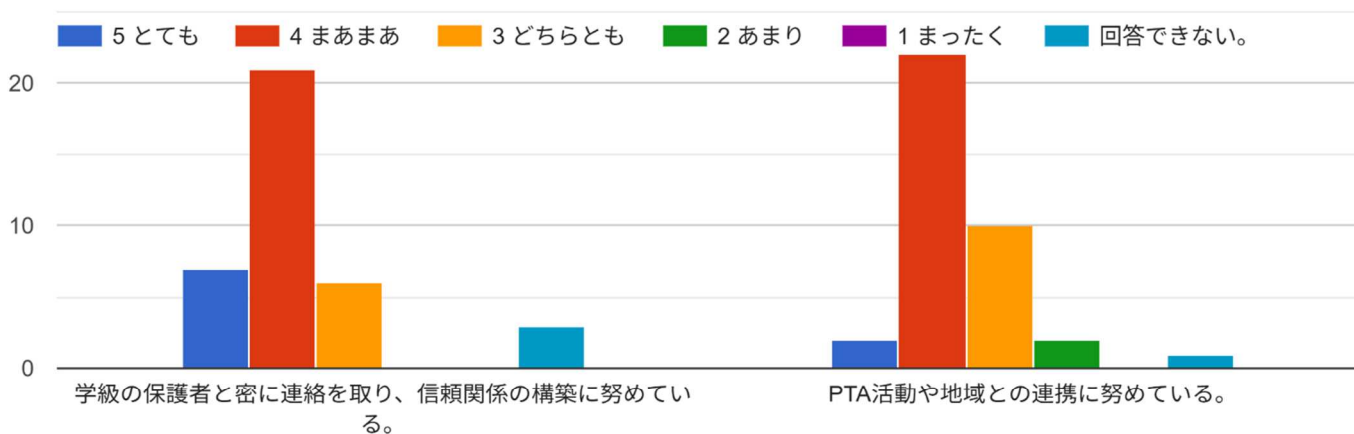
② 教育活動について



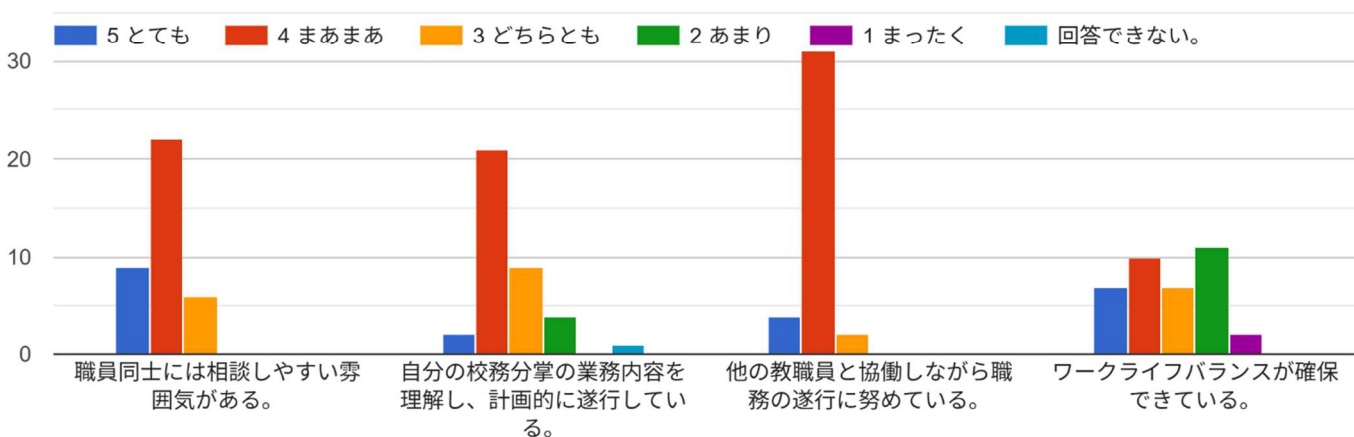
③ 生徒との関係づくりや支援・指導について



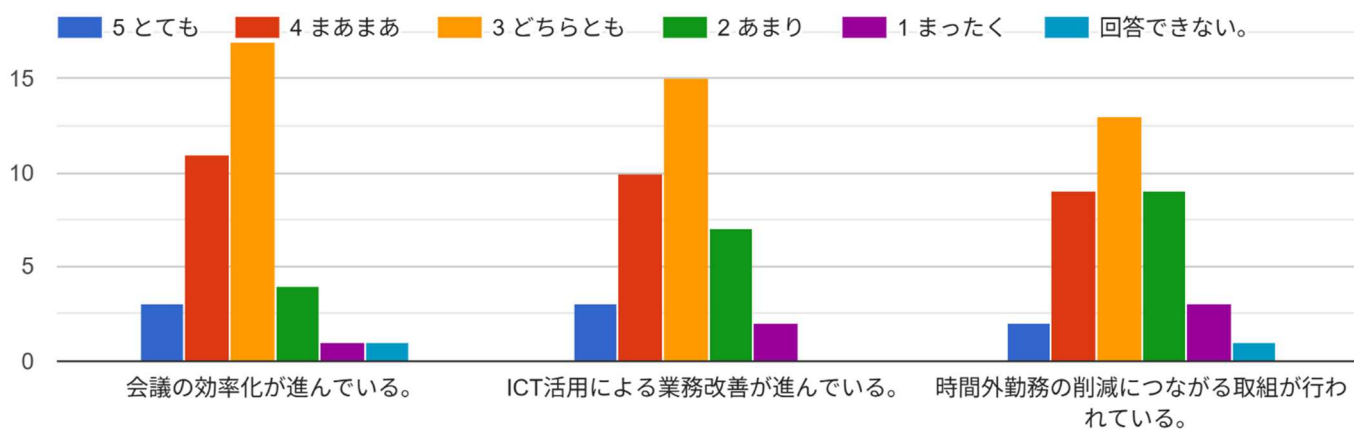
④ 保護者・地域連携について



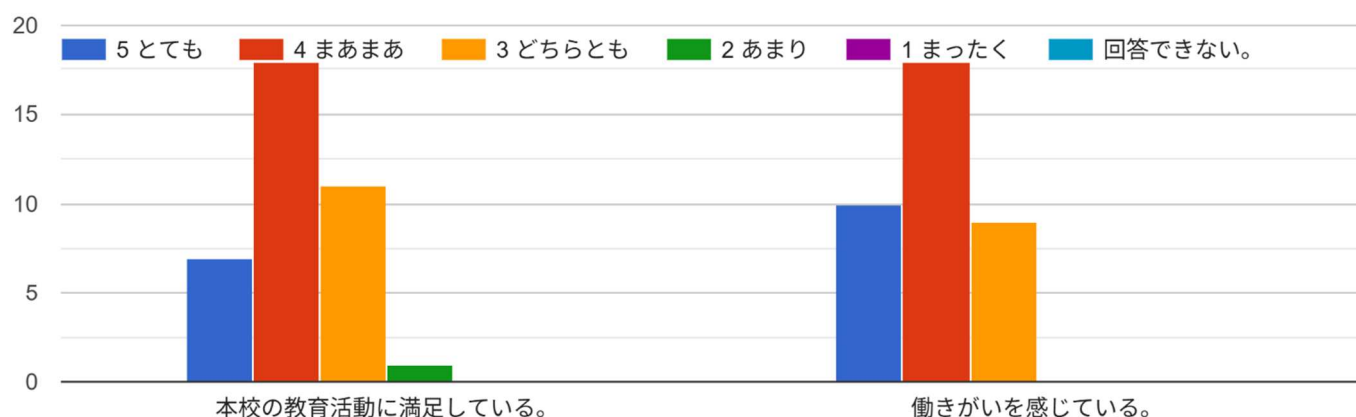
⑤ 職場環境について



⑥ 働き方改革について



⑦ 総合評価



良いところ（強み）

① 生徒の良さ

生徒が素直、落ち着いている、頑張り屋が多い、何事にも一生懸命取り組む、明るい生徒が多い、新しい取組にも前向き

② 教職員の人間関係・協力体制

教員同士が話しやすい、ギスギスしていない、相談しやすい雰囲気、報連相がしやすい、協力的である職員室の雰囲気が良い、笑いがある職場、若手教員に活気がある、一人で悩みを抱え込まない環境

③ 管理職との関係

管理職へ相談しやすい、指示が分かりやすい、適切な助言がある、自分の意見を言いやすい

④ 学校の組織力

役割分担が明確、生徒アンケート等に迅速に対応している、学校方針が共有されやすい、協働的な学校文化がある

⑤ 地域・PTA との関係

PTA が協力的、地域や卒業生の支援が厚い

⑥ 研究・教育活動

研究が進んでいる、「わくわく」など先進的な取組がある、九大生との連携など新しい挑戦がある授業づくりへの熱意がある

課題

① 働き方改革・業務改善

業務の効率化、不要な仕事の削減、超過勤務の改善、退校時刻の設定、事務作業時間の確保、業務の偏り解消
一部教員への負担集中

研究指定校業務の負担増

〈具体的改善策〉☞所見チェックの見直し、会議や業務の効率化、マニュアル整備

② 情報共有・引継ぎ

情報共有をより確実に行う、行事記録の蓄積 → ノウハウの共有

期限を早めに設定する

教員の業務内容の見える化

③ 学力向上・学習習慣

学力の二極化、家庭学習の定着、学習意欲向上

わくわくする学びづくり

④ 授業力向上

教員の授業改善、授業づくりの学び合い

指導主事による授業研修

⑤ 生徒指導・学級経営

規律指導の基準が曖昧 → 生徒指導の方向性統一

生徒同士をつなぐ学級経営 → 積極的生徒指導の充実 → 問題行動の未然防止

⑥ 特別支援教育

支援員不足、

指導法共有不足、教科横断的な情報共有

⑦ 保護者対応

保護者との距離感、信頼関係づくり

専門的人材の配置希望

⑧ 教員のメンタルケア

教員自身の相談体制整備 → カウンセラー活用

⑨ 部活動

引率による長時間勤務（早朝出勤・帰宅遅延・疲労の蓄積）

強みは「生徒の素直さ」と「教職員同士の良好な人間関係」、課題は「働き方改革・業務改善」と「情報共有・業務の平準化」に集中していました。